

外国語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 T1 〇〇 〇〇
T2 〇〇 〇〇

1 日時・場所 平成22年1月〇〇日 (〇)

2 学年・学級 1年〇組

3 単元名 Multi Plus 2 : わたし的一天, New Horizon English Course Book 1

4 単元について

(1) 教材観

モデル文として彩の毎日の生活習慣が起床から就寝まで時間を追って表現されている。彩の表現から発展し、周りの者と関わりを持ちながら、積極的に自己表現をすることができる4技能統合型の教材である。生徒は自分の生活習慣を述べることを通して身近で日常頻繁に使われる表現に触れることができ、親しみをもって英語を使えるものと思われる。なお、本単元では、既習言語材料である疑問詞 what や how, そして三人称単数現在形の動詞-s[es]の復習も行うことができる。

(2) 生徒観

本学年は、生徒の大多数が「ひろしま型カリキュラム」に基づいて小学校から英語に親しみ、学習してきたので、入学当初から英語に違和感をもつこともなく学習を進めることができる。本クラスは男女の仲が良く、落ち着いており、学習に前向きに取り組む生徒が多い。一方で、学習習慣がついておらず、学習全般に意欲をなくしかけている生徒もいる。そのため英語学力の差が見え始め、特に書く活動においてばらつきが顕著である。現在、チーム・ティーチングを通して、どの生徒へもきめ細かな指導を行うように意識して取り組んでいる。

(3) 指導観

自分自身の一日の生活を考えさせたあと、生徒同士の対話において既習言語材料の疑問詞 what や how を使用することを促し、幅のあるやりとりや自然な会話を目指したい。その際、教科書に未掲載の表現を使うことも活動を活性化させる上で推奨したい。幸い生徒たちは小学校の時にコミュニケーション活動に十分慣れ親しんでいるので、中学校では「この表現を用いなさい」と指示するのではなく、自らが使える表現に気づき、それを用いて自分の気持ちや考えを表現できるような指導方法の工夫を図りたい。自己表現ができるようになった後、友達の一日の生活等について描写ができるような表現力を身につけることができるものとする。第三者の情報を述べることによって、事実を的確に述べる力や主語の人称変化に素早く正確に対応する力を育てたい。また、生徒の課題である書く力の育成については、活動時間を十分に保障したり、机間指導を丁寧に行ったりして、個別の支援を図っていきたいと考えている。

5 単元の目標

- 既習事項を活用して、一日の生活について適切に表現することができる。
- 既習事項を活用して、一日の生活について正確に理解することができる。

6 単元の指導計画(2時間)

(1) 第1時 … Multi Plus 2 モデル文の内容理解, 自己表現作成・練習

※モデル文の内容を理解させると共に、それを参考に自分自身の表現を考え、話すことができるように指導・支援を行う。

(2) 第2時 … Multi Plus 2 尋ね合わせ活動による表現の定着, まとめ(本時)

※ What time ~? や How do you ~?, What do you ~? を用いて他者と一日について問答したり、第三者の情報を的確にまとめることができるように指導・支援を行う。

7 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
○一日の生活について積極的に質疑応答している。	○一日の生活について適切に表現することができる。	○一日の生活について正確に理解することができる。	○一日の生活についての表現の仕方を知っている。

8 本時の授業について

(1) 目標

- 既習事項を活用して、一日の生活について適切に表現することができる。

(2) 指導方法の工夫

- 音声を重視した小学校での学習指導を受けて、教室英語を日常的に使用したり、英語を発話する場やグループ活動を取り入れたりすることにより、生徒が能動的に英語学習に取り組める環境を整える。
- 音声を重視した小学校での学習指導を受けて、フォニックスを用いることにより音声と綴りの関係についての構造化を図る。
- 体験活動を重視した小学校での学習指導を受けて、小学校時の活動を想起させる帰納的導入・展開を図る。
- 小学校での学習活動と同様に、生徒が自己の学習状況について振り返る場面を設ける。

(3) 本時の評価規準

評価規準 (評価目標)	評価場面 (方法)	具体的評価規準		努力を要する生徒への支援 (手立て)
		十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	
<コミュニケーションへの関心・意欲・態度> ○一日の生活について積極的に質疑応答している。	行動観察	・一日の生活について積極的に質疑応答している。	・一日の生活について質疑応答している。	・模範を示しながら個別に支援する。
<表現の能力> ○一日の生活について適切に表現することができる。	行動観察 ワークシート	・一日の生活について適切に話したり、尋ねたりすることができる。	・一日の生活について多少まちがいはあっても話したり、尋ねたりすることができる。	・模範を示しながら個別に支援する。

(4) 本時の展開 (50分授業)

時間	生徒の活動	教師の支援(★)・発問・指示(○)		評価 [評価方法] 指導の留意点 (※)
		T 1	T 2	
	挨拶	Good afternoon. How are you? How is the weather? What day is it? What is the date? What time is it now?	Good afternoon. ★大きな声で挨拶をするように促す。	
5分	繰り返し学習の時間 【ひろしま型カリキュラムに基づく小・中接続を意識したモジュール学習】	★大きな声で、正しい音を出すよう促す。 ★生徒の間をまわりながら、必要に応じて個別に支援する。	○音と文字の関係に気づくよう、大きな声で、はっきりと何度も発音させる。発音しながら、ワークシートに書くように指示する。	
5分	展開 (意欲づけ) (Review)	Let's do the review. Do you remember your homework? Please write down "Your Day" in thirty seconds.	★書けない生徒に対して個別に支援する。	
10分	導入 (学習課題の提示) ・ Watching the Video	Today I'll show you the video. In the video we'll have a special guest, you know. Please watch it very carefully and take notes on your sheet. (Script) T1 : Hello, Mr.○○. Special T : Hello, Ms. ○○, and hello, everyone. T1 : How are you today? Special T : So-so, thank you. T1: Now we're studying about "My Day" in the textbook. Today I'd like to check "Mr. ○○'s day." You are popular with my class. Please answer some questions. Special T : Sure.		※ビデオを見ながら、本時のねらいに気づくよう促す。 ※ T2 は生徒たちの間をまわり、必要に応じて個別に支援する。

		<p>T1 : What time do you get up? What time do you leave home? How do you come to school? What time do you get to school? What do you do after school? What do you usually do before dinner? What time do you go to bed? * Special T answers each question.</p> <p>T1 : Thank you, Mr.○○. You gave us useful information. Special T : You're welcome. I enjoyed it. Study hard, everyone!! Bye.</p>		
	<p>・ Comprehension Check</p>	<p>○ビデオの内容を確認しながら、本時のターゲットを簡潔に説明する。</p>	<p>★理解の不十分な生徒を個別に支援する。</p>	
15分	<p>展 開 (音声による繰り返し練習) ・ Pattern Practice ・ Communication Activity インタビュー</p>	<p>★次のインタビュー活動で自信を持てるよう支援する。</p> <p>○コミュニケーション活動のタスクを与える。(ワークシート) ○前時で自己表現は練習させているので、答えるときには相手の顔をしっかりと見ながら、答えられるよう指示をする。 Now let's start the interview. Make pairs. First let's do janken. Winners ask questions. Losers answer. Watch us.</p>	<p>○カードを提示し、インタビューの練習をさせる。</p> <p>★ T1 とのデモンストレーション後、生徒の間をまわり、しっかりとインタビューができるよう必要に応じて個別に支援する。</p>	<p>関 ・一日の生活について積極的に質疑応答している。 [行動観察]</p> <p>表 ・一日の生活について適切に表現することができる。 [行動観察・ワークシート]</p> <p>※尋ねる時、答える時は相手の顔を見て行うように促す。</p>
15分	<p>まとめ (振り返り) ・ Report</p>	<p>○導入で用いたビデオ内容を基に、レポートの例を提示する。 I wrote about "Mr. ○○'s day." Next your turn. Please write a report of your partner. Make groups. ○インタビュー結果をまとめさせ、班内で報告させる。 ★ T1 は、生徒の間をまわりながら必要に応じて個別に支援する。</p>	<p>★生徒の間をまわりながら、人称変化に伴う動詞の変化を認識して書いているか確認し、必要に応じて個別に支援する。</p> <p>★まとめの報告が十分に行われているグループには「コミュニケーションシール」を渡して賞賛する。</p>	
	<p>挨拶</p>	<p>○英語で挨拶すると共に、次時の提示をする。</p>		

My partner's () information	
get up at	leave home at
walk to school / come to school by	
get to school at	
	after school
usually	before dinner
go to bed at	

Report

My partner is ().

[He / She] gets up at ().

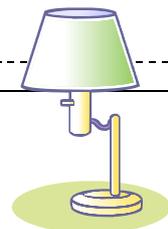
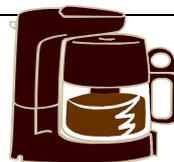
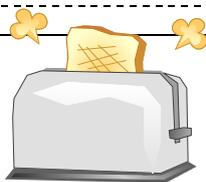
[He / She] leaves home at ().

[He / She] walks to school / [He / She] comes to school
by ().

[He / She] ()
after school.

[He / She] usually ()
before dinner.

[He / She] goes to bed at ().



C l a s s () N o . () N a m e ()